

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年9月28日作成

活性化計画名	長野県伊那市西箕輪地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県	200000		平成26年度	平成26年度
伊那市	202096	1	～平成29年度	～平成28年度
活性化計画の区域				
長野県伊那市西箕輪地区（長野県伊那市）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%)	備考
			B/A	
交流人口の増加	5.52%	-5.53%	-100.18%	

(コメント)

- ◎事業開始の平成26年度から平成27年度にかけて、交流人口の減少に歯止めがかからず、目標値を大幅に下回ってしまい、平成28年度から増加に転じたものの、目標値に届かず達成率がマイナスとなった。これは、平成26年度に設計、平成27年度に着工し、施設の供用開始が平成28年度以降であったため、活性化計画目標が過大となったことによる。
- ◎様々な農産物の収穫体験に力を入れる産地が増加しつつあることから産地間での競争が激化していることと、ツアーバスの規制が強化された事により、より主要都市に近い産地にシフトする傾向があり、首都圏からの交流人口の増加が鈍化している。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
都市農山漁村総合交流促進施設	交流促進施設 1棟 (523.91㎡)	地域食材提供施設 7棟 (183.84㎡)	伊那市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
はびろ農業公園管理組合	平成26年度	平成28年度	平成29年4月1日
事業の効果			
<ul style="list-style-type: none">・地元農産物を使用した手作り体験や収穫体験、さらに各種イベント等に利用できる施設として、交流人口増加を目標に地域農業の活性化を図ることができた。・また、体験やイベントを通して地区の農畜産物の販売が増加し、地域農業の活性化に貢献することができた。			

3 総合評価

(コメント)

- 本地区においては、天候の影響を受けずに手作り体験等ができ、団体等にも対応した交流促進施設として供用開始となったことにより、交流人口は増加している。
- 拠点施設を中心に地域の意識向上と都市住民が参加しやすい体験メニューの開発、既存の施設との連携により、各施設は利用計画を上回る利用実績となっており、平成27年度に交流人口の減少に底を打つ形で、年度を追う毎に交流人口が回復傾向に有り、今後とも地域の活性化に期待ができる。
- 産地間競争の激化や貸切バスの規制強化により、団体を中心に交流人口の増加が鈍化しているが、拠点施設を中心に新たなイベントや商品（体験）の開発と多様な来園者に対応できる魅力ある農業公園作りを進め、今後も交流人口の増加を図っていく。

4 第三者の意見

(コメント)

- 目標としている「交流人口の増加」について、当初の目標を大幅に下回る結果となっているが、施設の供用以降増加していることから、今後予定している取組に期待する。
- 平成28年度より交流促進施設、平成29年度より食材提供施設がオープンし、手作り体験や収穫体験、即焼いて味わえるなど、みはらしファームの魅力が充実してきている。今後、新たなイベントや商品開発も行うと同時に、複数以上の施設、体験、食事、買い物を行い、交流人口の増加、滞在時間の延長、消費金額の増額に繋がる仕組みづくり、四季を通してのリピーターの確保が必要となる。そのため、単独施設で考えるのではなく、みはらし全体で取り組むことを期待する。

(一社) 伊那市観光協会 事務局長 中村 忠人